



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場会社名 積水樹脂株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4212 URL <http://www.sekisuijushi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 彌一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 菊池 友幸

TEL 06-6365-3204

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,166	6.5	1,555	11.4	1,591	7.8	833	4.8
23年3月期第1四半期	12,360	6.9	1,397	34.2	1,477	36.2	795	49.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 990百万円 (89.8%) 23年3月期第1四半期 521百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.76	—
23年3月期第1四半期	17.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	81,022	57,268	69.9
23年3月期	84,002	56,820	67.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 56,656百万円 23年3月期 56,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	13.00	21.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 23年3月期期末配当金の内訳 普通配当8円 特別配当5円

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	2.8	3,050	2.6	3,050	0.6	1,750	1.8	39.37
通期	62,500	7.8	8,600	4.5	8,600	2.1	4,700	3.0	105.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信[添付資料]4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	47,313,598 株	23年3月期	47,313,598 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,861,157 株	23年3月期	2,860,964 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	44,452,477 株	23年3月期1Q	44,428,700 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱や原発事故に伴う全国的な電力供給不安のほか、原材料価格の高騰などにより極めて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境下において、当社グループは、中期経営計画「JEX-2013 (Jushi-Expansion2013)」の2年目となる今年度を、目標達成のための重要な年度と位置づけ、連結業績拡大に向けて事業本部の新体制をスタートさせたほか、グローバル戦略の一環として、東南アジアでの拠点確立とアジア新興国への事業領域の拡大をはかるべく、タイ王国にて事業会社を買収し、7月1日よりセキスイジェシ (タイランド) Co., Ltd. として事業活動を開始しております。

また、当社グループは、東日本復興プロジェクトを発足し、被災地の一日も早い復旧・復興に向けたインフラ整備の提案を行うなど、社会貢献に取り組んでいます。

当第1四半期の連結業績は、売上高は131億6千6百万円 (前年同期比6.5%増)、営業利益は15億5千5百万円 (前年同期比11.4%増)、経常利益は15億9千1百万円 (前年同期比7.8%増)、四半期純利益は8億3千3百万円 (前年同期比4.8%増) となりました。

①都市環境関連事業

防音壁は、アルミ枠透明板が第二東名自動車道路に採用され大幅な売上増となりましたほか、交通安全製品は、視認性に優れた太陽電池式LED表示板「オプトマーカーⅣ」や車線分離標「ポールコーン」が交通事故防止に貢献する製品として高く評価され、大きく売上を伸ばしました。人工芝は、耐久性・安全性に優れた「ドリームターフ」がサッカー場や学校グラウンドなどに採用され好調に推移しました。また、人工木材「スーパーオレンジウッド」は、耐久性、耐候性が評価され大手建材メーカー向けに順調な伸びを示しました。

この結果、都市環境関連事業の売上高は37億6千4百万円 (前年同期比7.7%増)、営業利益は5億3千5百万円 (前年同期比8.0%増) となりました。

②街路・住建関連事業

歩行者用防護柵や高欄は、公共事業予算縮減の影響により前年同期を下回る成績に終わりました。メッシュフェンスは、外構工事の増加を背景に好調に推移しました。めかくし塀は、プライバシー保護機能に通風機能を付加した製品が評価され大きく売上を伸ばしました。メタカラー建材は、外装やサインなどへの新規用途開拓により売上伸ばしました。また、アルミ樹脂複合板は、防音パネル「ビルガード」が軽量性・耐久性を評価されたことにより順調な成績を収めました。

この結果、街路・住建関連事業の売上高は46億5千6百万円 (前年同期比3.0%増)、営業利益は6億5百万円 (前年同期比0.6%増) となりました。

③産業・生活関連事業

包材関連製品は、柔らかく減容性の機能を持つ「ゆうバンド」が青果物・食品業界から評価され順調に推移しましたほか、ストレッチフィルムも大幅な伸びを示しました。デジタルピッキングシステム製品は、大手食品メーカー向けに採用され売上伸ばしました。また、組立システムパイプ製品は、介護福祉施設などの新規分野への積極的な販路拡大を行いました。自動車関連分野での販売低迷により前年同期並みの成績となりました。生活関連製品は、「室内ものほし」が部屋干し需要の増加により大幅に売上を伸ばしました。緑関連製品は、農園芸用支柱がホームセンター等への積極的な提案営業により前年同期を上回る成績を収めました。

この結果、産業・生活関連事業の売上高は47億3千7百万円 (前年同期比9.2%増)、営業利益は5億9千5百万円 (前年同期比18.1%増) となりました。

④その他事業

保険手数料収入の増加により、売上高は7百万円 (前年同期比12.1%増)、営業利益は4百万円 (前年同期比43.2%増) となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ29億7千9百万円減少し810億2千2百万円となりました。主に、現金及び預金ならびに受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4億4千8百万円増加し572億6千8百万円となりました。主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。純資産から少数株主持分を控除した自己資本は566億5千6百万円となり、自己資本比率は69.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ20億3千5百万円減少(9.8%減)し、186億6千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益15億7千9百万円に加え、売上債権の減少等による資金増加の一方、棚卸資産の増加や仕入債務の減少、法人税等の支払を行ったこと等により、営業活動に使用したキャッシュ・フローは1億5千2百万円となりました(前年同期は1億7千万円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得や、新たに子会社を獲得したこと等により、投資活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同期と比較して14億1千7百万円減少し、4億9千1百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少や配当金の支払い等により、財務活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同期と比較して8億1千7百万円増加し、14億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年4月28日に公表しました「平成23年3月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,696	20,661
受取手形及び売掛金	24,241	21,633
商品及び製品	2,752	2,856
仕掛品	783	1,109
原材料及び貯蔵品	2,431	2,728
その他	2,854	2,998
貸倒引当金	△52	△56
流動資産合計	55,707	51,932
固定資産		
有形固定資産	16,184	16,750
無形固定資産	123	135
投資その他の資産		
投資有価証券	7,829	8,157
その他	4,352	4,238
貸倒引当金	△193	△192
投資その他の資産合計	11,987	12,203
固定資産合計	28,295	29,090
資産合計	84,002	81,022
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,202	13,082
短期借入金	2,290	2,250
引当金	753	457
その他	6,118	4,244
流動負債合計	23,364	20,034
固定負債		
退職給付引当金	3,443	3,444
役員退職慰労引当金	18	20
その他	355	255
固定負債合計	3,817	3,719
負債合計	27,182	23,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,334	12,334
資本剰余金	13,187	13,187
利益剰余金	33,102	33,358
自己株式	△1,933	△1,933
株主資本合計	56,691	56,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254	296
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△681	△586
その他の包括利益累計額合計	△427	△290
少数株主持分	555	612
純資産合計	56,820	57,268
負債純資産合計	84,002	81,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	12,360	13,166
売上原価	8,503	9,207
売上総利益	3,856	3,958
販売費及び一般管理費	2,459	2,402
営業利益	1,397	1,555
営業外収益		
受取配当金	77	62
その他	79	47
営業外収益合計	156	109
営業外費用		
支払利息	46	48
その他	29	24
営業外費用合計	76	73
経常利益	1,477	1,591
特別利益		
負ののれん発生益	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	10
固定資産除売却損	7	2
特別損失合計	7	12
税金等調整前四半期純利益	1,492	1,579
法人税等	679	725
少数株主損益調整前四半期純利益	813	853
少数株主利益	17	19
四半期純利益	795	833

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	813	853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	40
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△46	94
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	△291	137
四半期包括利益	521	990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	970
少数株主に係る四半期包括利益	17	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,492	1,579
減価償却費	325	286
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△260	△234
負ののれん発生益	△23	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,434	2,762
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△474	△553
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,802	△1,195
その他	△1,043	△593
小計	2,648	2,051
利息及び配当金の受取額	88	77
利息の支払額	△45	△47
法人税等の支払額	△2,521	△2,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	170	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△175	△104
投資有価証券の取得による支出	△1,501	△301
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△195
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△200	100
その他	△31	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,908	△491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△49	△801
配当金の支払額	△534	△600
その他	△7	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△591	△1,408
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,340	△2,035
現金及び現金同等物の期首残高	19,395	20,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,055	18,661

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,495	4,520	4,337	12,353	6	12,360
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	1	31	32	3	36
計	3,495	4,521	4,368	12,386	10	12,396
セグメント利益	496	601	504	1,602	2	1,605

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,602
「その他」の区分の利益	2
全社費用（注）	△208
四半期連結損益計算書の営業利益	1,397

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,764	4,656	4,737	13,158	7	13,166
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	0	59	60	3	63
計	3,764	4,657	4,797	13,218	10	13,229
セグメント利益	535	605	595	1,737	4	1,741

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,737
「その他」の区分の利益	4
全社費用（注）	△185
四半期連結損益計算書の営業利益	1,555

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。